

平成24年度教育委員会事務点検評価(平成23年度実施事務事業)評価表

1 事務事業の基本事項

		整理番号	23
事務事業の名称	校舎空調設備改修事業	担当部課	教育委員会 生涯学習部 教育総務課
		電話番号	04 - 2953 - 1111 内線 5636
実施期間	平成 13 年度 ~		
総合振興計画における位置づけ	5章 人を育み文化を創造するまちをめざして	実施根拠	防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律
	2節 学校教育の充実		
	施策 45 教育環境の充実	個別計画の名称	
事業区分	<input checked="" type="radio"/> 自治事務 <input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 法定受託事務+自治事務		
事業開始の背景等	小・中学校の校舎の空調については、従来より温度保持工事を実施し、暖房機能は備わっていたが、夏季における学習環境の改善を図るために、既存の老朽化した空調設備を更新するにあたり、新たに冷房機能を加えて、除湿温度保持(冷暖房)工事を実施してきている。		

2 事務事業の目的・内容

目的	新たに冷房機能を加えた形で校舎の除湿温度保持(冷暖房)工事を実施し、夏季における学習環境の改善を図る。		
対象	小中学校の校舎		
活動内容	既存の老朽化した空調設備を更新するにあたり、新たに冷房機能を加えて、除湿温度保持(冷暖房)工事を実施している。 平成23年度は、富士見小学校の除湿温度保持工事を行い、設計については、2校(山王小・広瀬小)を実施した。		
(下段)前年度の方向性に対する改善活動	(前年度方向性評価)		
	継続		
環境配慮	燃料をクリーンエネルギー仕様の設備へと更新を図る。		
実施形態	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・負担 <input type="checkbox"/> その他()		

3 事務事業の実施状況と成果

区分	指標名	区分	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	目標値の根拠・考え方
(活動状況指標)	空調設備改修工事実施学校数	目標値	校	2	2	2	2	小中学校25校に平成27年度までに空調設備(冷暖房)を整備する
		実績値		2	1	1		
		達成率		100.0%	50.0%	50.0%		
(成果指標)	空調設備改修率	目標値	校	27	26	25	25	小中学校25校に平成27年度までに空調設備(冷暖房)を整備する
		実績値		14	15	15		
		達成率		51.9%	57.7%	60.0%		

4 事業費

区分		単位	21年度	22年度	23年度	24年度	
経費	直接費	予算額	千円	527,800	192,004	191,221	501,027
		決算額	千円	456,745	165,553	172,547	
	財源内訳	国県支出金	千円	263,035	93,348	103,016	
		その他特定財源	千円	180,000	36,000		
		一般財源	千円	13,710	36,205	69,531	
	人件費	従事職員数	人	0.70	0.70	1.00	
		人件費(従事職員数×平均給与)	千円	6,437	6,294	9,007	
事業費計(直接費決算額+人件費)		千円	463,182	171,847	181,554		
効率性指標	指標名	空調設備改修の校数	校	2	1	1	※1単位当たりの経費
	単位コスト	1校当たりの経費	千円	231,591	171,847	181,554	

5 事務事業の評価

◆第一次評価(担当課による評価)

項目	評価の視点	評価	評価理由
必要性	・目的の妥当性 ・市民ニーズへの対応 ・市が関与する必要性 ・市が負担する必要性 など	5	夏季の学習環境の改善を図る上で、校舎の冷房機能の確保の必要性は高く、児童生徒や保護者からのニーズも非常に高い。
		5	
有効性	・活動目標の達成度 ・成果の向上 ・上位施策への貢献度 ・市民サービスの向上 など	4	除湿温度保持(冷暖房)工事の実施により、快適な学習環境の確保が図られた。平成23年度において冷暖房機能を備えた空調設備改修は、25校中15校が完了している。
		4	
効率性	・手段の最適性 ・コスト効率の向上 ・受益者負担の適正化 ・執行体制の効率化 など	4	除湿温度保持工事(冷暖房)により、集中暖房から個別空調に改修することにより、未使用室の運転制御につながり、燃料費の節減を図った。
		4	
<5段階評価> 5:極めて高い 4:高い 3:普通 2:低い 1:かなり低い			
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 内容の見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了 市民や議会からの要望を踏まえ、改修工事の件数を年2校以上とし、残り10校の冷暖房化を平成27年度までに完了させる。		

6 その他(学識経験者の意見等)

必要な事業であり、計画的に進める必要がある。